

「使ってみよう！ 作ってみよう！ 「離床作業ツール」」

濱崎 徹志

広島市民病院 離床ファシリテーター OT部会

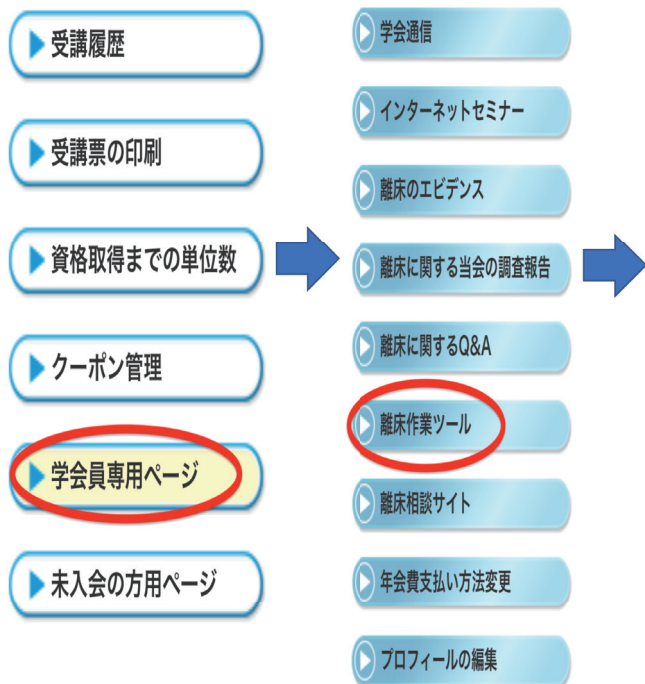
「日本離床学会作業療法士（以下 OT）専門部会」は、当学会に所属する有志の OT で構成しており、「離床」という枠組みの中での OT の役割と専門性を追求・発信することを目的に、Web 会議などを通して検討を続けています。

これまで私たちは、①離床の場面に OT のエッセンスを効果的に取り入れる方法はないだろうか②早期離床に向けての OT の取り組みを、何らかの形で提示することができないだろうか、③現場で活動する OT の経験則や知見を、職種を問わず広く共有する方法は無いだろうか、という課題に対して検討を重ね、対応を模索してきました。そして、その解決策の一つとして「離床作業ツール」の作成を企画し、約 1 年半の開発期間を経て、今回公開されました。

このツールは、臨床現場で活動する OT が実際に取り組んできた、アプローチ方法を段階的離床のステージごとに分類し、各種取り組みの中での

経験則やコツ・知見などについて、写真とともに提示したものです。臨床場面ですぐに使える技や、各種取り組みについての考え方など、参考になる内容を多数盛り込んでいます。利用方法は「日本離床学会」ホームページにアクセスし、「マイページ」欄の「学会員専用ページ」から「離床作業ツール」をクリックすることで閲覧できます。OT だけでなく、離床に関わる多くの方々に広く周知してもらい、会員間で共有する“知恵袋”として活用してもらいたいと思っています。

また、私たちは、今後も学会員の皆様の力をお借りしながら、ツールの内容をさらにブラッシュアップしていきたいと考えています。皆様が知っている離床に役立つ“技”や“コツ”などがありましたら、ぜひ専用ページ内のフォームから投稿してください。皆様の協力を得ながら、さらにこのツールを成熟させ、より利用価値の高いものにしていきたいと考えています。



離床作業ツール - Occupational Tool of Early Mobilization -

▶ 写真をクリックすると、離床別・活動別のツールページに移動します。



離床作業ツールへのアクセス方法
※会員アカウントにログイン後、図の通りにアクセスしてください